

湯前町の維持向上すべき歴史的風致

計画期間
平成29年度(2017)～令和8年度(2026)

湯前町は、旧石器時代の遺構により古くから人々の生活の痕跡がうかがえ、平安後期に毘沙門天像(御大師堂)、八勝寺阿弥陀堂(ぼつしょうあみたどう)がもたらされた。また、鎌倉時代には、現存では九州で2番目に古い木造建築とされる「明導寺阿弥陀堂(城泉寺)」や堂内の「阿弥陀尊像」といった球磨地域を代表する古社寺建築や仏像彫刻が造られ、その多くが現在に受け継がれている。中世から近世を通じて、「相良700年」とも称される相良氏の統治下にあり、比較的安定した治世で推移し、球磨神楽や臼太鼓踊りをはじめとした伝統芸能と祭礼行事や、球磨焼酎を代表とする伝統産業などが、100を超える社寺堂宇・石塔といった周辺の建造物とともに、地域特有の歴史的風致を形成している。

01. 里宮神社の祭礼行事にみる歴史的風致

市房山神宮里宮神社は、湯前城跡に建つ神社で、創建は昭和9年(1934)であるが、その由緒は16世紀に遡り、市房山神宮の別当寺であった普門寺を起源に修験道が盛んに行われていたほか、歴代の相良家当主をはじめ、領民からもひろく信仰されていた。

大神輿担ぎ

遥拝所として再興された後も、本町の総氏神的存在として「里宮さん」の愛称で親しまれ、春秋の大祭では、町内を神輿が練り歩き、球磨神楽や臼太鼓踊り、棒踊りといった伝統芸能が奉納され、人びとの心のよりどころとして地域に欠かせない存在となっている。

ひがしかたぐみたいおど
東方組太鼓踊り



02. 相良三十三観音めぐりにみる歴史的風致

相良三十三観音めぐりは、江戸時代にはじまったとされる巡礼で、球磨地域にある33箇所の霊場では春と秋の彼岸に全札所の一斉開帳が行われる。各札所では「お接待」と呼ばれ、地域住民が協力し、巡礼者に茶菓を振る舞い旅の疲れを癒やす。近年では観光客の増加等により、人びとの交流の場ともなっている。

また、巡礼者が白衣姿で「御詠歌」として札所の名前を詠み込んだ歌を唱え巡礼する光景は、球磨地域に本格的な季節の訪れを告げるものとしてその歴史と伝統を今に伝える。

さがらさんじゅうさんかんのん
相良三十三観音めぐり



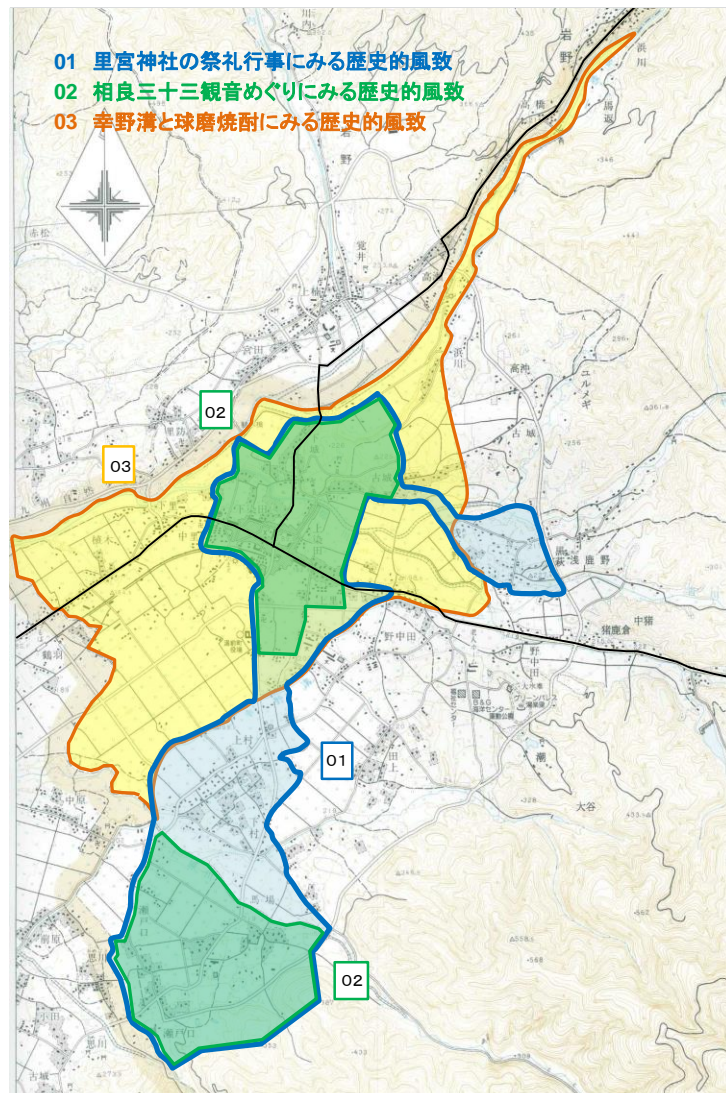
03. 幸野溝と球磨焼酎にみる歴史的風致

疏水幸野溝は、江戸時代の新田開発とともに造られたもので、水害による堰の流失など難工事の末、宝永2年(1705)に完成した。その偉業は、球磨地域を有数の農業地帯に発展させ、人吉藩の石高増収につながり、現在でも耕作地や水路では祭礼行事が行われ、防災上も地域の重要なかんがい施設となっている。

こうのみぞ
幸野溝(水路橋)

盆地特有の輸送困難な地理的条件のもと石高が上がり、興隆したのが「球磨焼酎」の醸造である。日常から宴席まで、生活のさまざまな場面で焼酎を酌み交わす光景がみられ、近年では世界貿易機関による産地表示の保護指定により、世界的ブランドとして確立している。

くましよちゆう
球磨焼酎蔵元



湯前町の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称と面積
湯前町区域 約382ha

重点区域において、歴史的風致維持向上施設の整備や歴史的風致形成建造物の維持保全など様々な事業を実施し、歴史的風致の維持向上を図るとともに、町域全体においても各種の施策や事業を実施して、「未来へつなぐ 歴史まちづくり」を進めていくものとする。

(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業

① 明導寺阿弥陀堂等修繕事業

歴史的建造物の維持保全を図るため、重要文化財の明導寺阿弥陀堂の茅葺屋根修繕と九重石塔の修繕等を行う。



みょうどうじあみだどう

■ 明導寺阿弥陀堂

(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業

③ 歴史的風致形成建造物保全整備事業

方針に基づき指定した歴史的風致形成建造物において、歴史的風致の維持及び向上に必要な改修等の支援を行う。



ゆのまええき

■ くま川鉄道湯前駅

(2) 伝統を反映した人々の活動に関する事業

⑤ 無形民俗文化財保存継承事業

東方組太鼓踊りや浅鹿野棒踊り等の無形民俗文化財の継承活動等に支援を行い保存及び地域の活性化を促進する。



ひがしかたぐみたいこおど

■ 東方組太鼓踊り

(3) まちなみと景観形成に関する事業

⑨ 里宮通り他道路美装化事業

歴史的なまちなみを形成し、歴史的建造物への誘導性等を高めるため、道路の美装化に取り組む。



■ 道路美装化

(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業

⑩ 湯前まんが美術館改修事業

歴史文化を総合的に発信していく湯前まんが美術館の利便性や展示機能の拡充に取り組み、歴史文化の普及や観光振興を推進する。

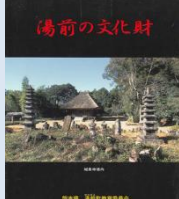


■ 湯前まんが美術館

(5) 歴史的風致の維持向上に関する調査計画策定事業

⑬ 歴史文化基本構想等策定事業

歴史文化基本構想の策定を中心として、歴史文化の振興と情報発信の拡充とともに地域活性化を推進する。



湯前の文化財

■ 湯前の文化財



- 町全体を対象とした事業
- ⑤ 無形民俗文化財保存継承事業
- ⑥ 地域伝統芸能等保存活用事業
- ⑦ 郷土学習総合推進事業
- ⑪ 湯前町歴史文化情報発信推進事業
- ⑬ 歴史文化活用着地型観光事業
- ⑭ 案内看板統一化等事業
- ⑮ 湯前町観光案内人育成事業
- ⑯ 湯前町歴史文化基本構想等策定事業